

III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
原田 昭	・札幌市立大学の国際関係事業の展開と、地域連携事業の展開
酒井 正幸	・ユニバーサルデザイン研究 ・動物園のグランドデザイン
城間 祥之	・高齢者とロボットとの会話によるコミュニケーションの可能性に関する研究
中原 宏	・コミュニティと住区デザインに関する研究
石崎 友紀	・デザイン製品における工学的性能と審美的性能の均衡の研究、道具学探究、造形教育、地域様式デザイン開発
上遠野 敏	・現代美術創作研究 ・同時代の美術研究 ・日本の美意識研究
齋藤 利明	・オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出
杉 哲夫	・プロダクトデザイン事例研究およびデザイン開発
武邑 光裕	・ソーシャルメディアと連携した創造産業(Creative Industries)賦活要因に関する研究
羽深 久夫	・北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 ・米国・東欧・北欧における木造建築の保存・再生・活用 ・日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 ・世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊彦	・ドイツと日本における無子の増加に関する研究 ・超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン ・震災に関わる地域人口への影響評価・復興モデルの検討
望月 澄人	・CG作品とアニメーションの制作
矢部 和夫	・地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
吉田 和夫	・組織活性化におけるVI(ビジュアル・アイデンティティ)の役割とその生成について
吉田 恵介	・地域景観資源評価手法の開発と景観デザイン
斉藤 雅也	・想像温度と温熱快適性の解明
武田 亘明	・「ICTを活用したメディア教育の研究」 1) 情報を読み解く力の育成教育に関する研究 2) 手書き入力・自動採点システムによる放課後自学自習用電子教材の開発 3) クリエイティブ人材育成の実践的学びの場のデザイン
張 浦華	・形態と感性評価の相関要因に関する研究
那須 聖	・建築形式に内在する言語様相性
細谷 多聞	・視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
町田 佳世子	・北海道の企業が採用に際して求めるコミュニケーション能力に関する調査 ・体験型教育・啓蒙プログラムにおける仲介者の役割の解明
石田 勝也	・サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築
大淵 一博	・デザイン学習者向け教材の開発と教育効果測定に関する研究

教員名	研究課題
柿山 浩一郎	・製品・サービス発想における、リアルタイム集団アイデア発想システムの精度向上
片山 めぐみ	・地域と高齢者を結びつける「縁側サービス」-日本におけるコミュニティ・レストランの事例研究
小宮 加容子	・個々の障害・能力に対応したユニバーサルなインタフェースに関する研究-視覚情報からの影響についての考察-
福田 大年	・ワークショップの活動を基盤としたアイデア発想能力の向上に関する基礎的研究
松井 美穂	・20世紀アメリカ南部文学
三谷 篤史	・木の感性性能を生かしたメカトロ積木の開発
山田 良	・環境芸術の空間構造に関する研究
上田 裕文	・震災復興の風景計画に関する研究
須之内 元洋	・ウェブサービスを活用した公共メディアの展開における課題と展望
長谷川 聡	・産学連携の製品デザインによる地場産業の新興

看護学部

教員名	研究課題
中村 恵子	・成人看護学領域における看護技術獲得とその検証
スーディ神崎 和代	・ITを用いた遠隔看護システム ・地域在宅ケア従事者を対象とした継続的学習モデルの構築 ・離島在住高齢者の転倒と転倒リスクに関する研究
山本 勝則	・精神看護学におけるシュミレーション教育
宮崎 みち子	・胎児の生きる権利に関する研究
内田 雅子	・慢性期看護における対象理解と心理社会的援助 ・事例研究法 ・看護OSCEにおける評価法 ・看護職キャリア形成の評価枠組み
河野 總子	・呼吸ケアにおける看護師の裁量権の見直しと拡大可能性 ・看護活動における作業環境の改善に向けた基礎的研究-ナースステーションのあり方と看護師の動作空間のあり方の調査研究-
坂倉 恵美子	・季節別にみた地域在住高齢者の外出頻度と精神健康の関連および回想法による介入効果の分析 ・老年看護実習における看護学生の高齢者イメージの変化-地域健康高齢者を対象とした実習Ⅰおよび認知症・強弱高齢者を対象とした実習Ⅱ前後の比較- ・2011日本老年看護学会交流集会のテーマ「老年看護学教育における客観的臨床能力試験(OSCE)の取り組み」
定廣 和香子	・看護学実習における医療事故防止に向けた教授活動
樋之津 淳子	・基礎看護技術と臨床教育をつなぐ卒後研修プログラムの開発
松浦 和代	・低学年児童の基礎活動力を高める転倒予防マットレスの開発と運動プログラムへの適用
大野 夏代	・指圧・マッサージ、OSCEなど看護技術及びその評価に関する研究 ・国際的研修活動の評価に関する研究
清水 光子	・保健師の専門性に関する研究 ・官学民連携による地域に根ざした健康教育演習の実際と学習効果

教員名	研究課題
守村 洋	・メンタルヘルスに関する研究(主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究)
山田 典子	・セーフティプロモーション(SP) ・セーフティコミュニティ(SC)活動の現状と課題
吉川 由希子	・広域医療圏に居住する障害児の在宅ケアに関する研究
菊地 ひろみ	・在宅看護サービスによる在宅療養者の病状安定および重症化予防の対医療費効果に関する基礎的研究
櫻井 繭子	・地域看護教育における官学民連携に関する研究 ・支援専門職に関する研究
菅原 美樹	・成人看護学実習におけるポートフォリオの活用に関する研究
杉田 久子	・臨床看護実践における知の構築プロセスの研究～看護師の「知」に基づく看護実践の可視化に関する研究～ ・クリティカルケア看護師のexpertiseの探求
田中 広美	・看護技術に関する研究
藤井 瑞恵	・循環器疾患等の生活習慣病予防に関する疫学的研究
星 美和子	・人間の脆弱性とウェルビーイングに関する研究
村松 真澄	・高齢者施設のATP検査法を用いた環境調査
山内 まゆみ	・助産師基礎教育の「職業準備性」を高める教育技法の検証
山本 真由美	・産科混合病棟の看護管理者が認識する困難な課題－北海道札幌圏の総合病院の場合－
渡邊 由加利	・助産学におけるOSCEの方法と信頼性の検討
太田 晴美	・東日本大震災への組織的復興支援活動－JMATと地域保健医療機関へ“つなぐ”支援活動－
神島 滋子	・脳損傷患者の認知機能評価スケールの開発に向けた研究
河村 奈美子	・発達段階各期における精神保健と看護
工藤 京子	・地震などの災害時における在宅酸素療法者の実態と対応策の検討
多賀 昌江	・周産期のグリーフケアを支援するためのデザイン研究：妊娠22週未満の死産児を安置するための専用棺の開発
鶴木 恭子	・重曹使用による清拭の清浄度の研究
照井 レナ	・在宅ケア従事者が連携して行う Multi-discipline型、かつ計画と評価に関わる自己主導型学習活動システムの構築 ・IT活用による遠隔看護サービス(E-KANGO)研究
原井 美佳	・寒冷地で居住してきた女性高齢者の尿失禁のリスク要因解明と尿失禁への対処行動促進に関する研究
渕本 雅昭	・看護大学院における高度専門職業人(専門看護師)育成のためのOSCEプログラム開発に関する研究
三上 智子	・自然免疫Toll様受容体における分子進化機構の解明－分子進化速度、同義非同義置換速度の解析、系統樹解析から－
田仲 里江	・保健師のストレスに関する研究
檜山 明子	・疼痛に関する看護実践方法の検討